

石川 仁教授が筑波大学附属病院平成 30 年度 ベスト・プラクティス優秀賞を受賞しました

放射線腫瘍科 石川 仁教授が、筑波大学附属病院平成 30 年度ベスト・プラクティス優秀賞を受賞しました。ベスト・プラクティスとは、PDCA サイクルを活用し、医療の質の改善のために院内で実行された取組みで、中でも優秀な取組みに対し、優秀賞が与えられます。

受賞テーマは「食道癌に対する集学的チーム医療の実践」で、2019 年 1 月 8 日に表彰式が執り行われました。

食道癌の治療には、専門的な知識や技術力を要します。情報共有などを目的に、他職種による集学的チームを結成しました。結果として、個々のニーズに合わせた質の高い治療や知識・情報の共有が可能となりました。今後、当院での食道癌治療のさらなる発展が期待されます。



左：原 晃病院長 右：石川 仁教授